

第25回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	令和2年7月29日（水） 14:00～
場 所	各務原市役所 産業文化センター 7階第1会議室
委 員 (敬称略)	<p>【出席】(敬称略)</p> <p>相宮 一夫 (岐阜乗合自動車株式会社営業管理部長)</p> <p>吉岡 実 (名鉄バス株式会社営業本部運行部運行課運行課長)</p> <p>豊田 智隆 (東海旅客鉄道株式会社鉄道事業本部企画課課長代理/代理:安達 英矩)</p> <p>菱田 純二 (名古屋鉄道株式会社西部支配人室営業総務課長)</p> <p>石井 靖治 (岐阜交通東部株式会社代表取締役)</p> <p>山田 健太郎 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長)</p> <p>林 直樹 ((公社)岐阜県バス協会専務理事/代理:上嶋 英樹)</p> <p>鷺見 高志 (岐阜乗合自動車労働組合執行委員長/代理:正村 明)</p> <p>川島 高司 (蘇原自治会連合会長)</p> <p>末松 誠榮 (那加自治会連合会長)</p> <p>安田 寿之 (稲羽川島自治会連合会長)</p> <p>櫻木 隆宏 (鵜沼自治会連合会長)</p> <p>近藤 亜矢子 (子ども子育て会議委員)</p> <p>清水 孝子 (八木山地区社協 事務局長)</p> <p>久世 真 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>中村 澄之 (岐阜国道事務所管理第一課長)</p> <p>沢木 利勝 (岐阜土木事務所施設管理課長)</p> <p>荒木 明弘 (各務原警察署交通課長)</p> <p>幸畑 哲也 (岐阜県都市建築部公共交通課長/代理:長谷部 美穂)</p> <p>五十川 玲子 (各務原市議会経済教育常任委員長)</p> <p>各務 英雄 (各務原商工会議所専務理事)</p> <p>加藤 博巳 (アイシン精機(株)イノベーションセンター主査)</p> <p>川端 光昭 (岐阜工業高等専門学校助教)</p> <p>小鍋 泰弘 (各務原市副市長)</p> <p>※「チョイソコかかみがはら」協議のため、オブザーバーとして、タクシー事業者出席</p> <p>横山 孝司 (川島タクシー(株)専務取締役)</p> <p>白木 義章 (日の丸自動車(株)営業部課長)</p> <p>【事務局】</p> <p>各務原市 産業活力部公共交通政策室</p>

・市長あいさつ

・議事

①「チョイソコかかみがはら」導入実証実験の実証期間及び運行エリアについて

・報告

①「チョイソコかかみがはら」利用相談会の開催について

②令和1年度 第三者評価委員会による二次評価結果について

・その他

市長 挨拶

本日は、第25回各務原市地域公共交通会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます

今日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点におきまして、換気を良くし、机の間隔も空けて会議に臨みたいと思います。ご存じのとおり、新型コロナウイルスにより、社会の在り方は大きく変化しています。経済・医療・行政も含めて、社会全体でどのようにコロナウイルスと付き合いながら新しい生活スタイルを築いていくのかといった議論もあります。

さて、そういった中、公共交通行政では、4月・5月のふれあいバス利用者数は、前年比で5割程度まで落ち込んでいるといった状況です。今後の社会情勢においては、乗合という公共交通の仕組みも変容が求められるかもしれません。一方で、この数字は、不要不急の外出を控えていただいている中でも、5割の方が日常生活を営む上で、生活の足として公共交通を利用しているといった裏返しでもあります。

加えて、昨年度は運転免許証自主返納者に対する支援の件数が550件と前年の2倍程度まで増えており、公共交通事業の必要性がますます高まっていると考えております。

そのような中、当市では「各務原市地域公共交通網形成計画」を策定し、タクシー事業者の皆様も含めた公共交通の維持・確保を進めていく方針を定めております。

本日も審議をいただきます「チョイソコかかみがはら」は、タクシー事業者の皆様と一緒に新たな公共交通事業を作り上げていくものです。

今回の議事につきましては、委員の皆様から忌憚のないご意見を賜りながら、より良い事業を作りあげていきたいと思っておりますので、ぜひ前向きに、活発なご議論を頂きますよう、よろしくお願いたします。

■議事

- ・議事① 「チョイソコかかみがはら」導入実証実験の実証期間及び運行エリアについて

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>＜岐阜県タクシー協会支部長 山田委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 先日、豊明市の「チョイソコとよあけ」を視察し、非常に勉強になった。 ● 乗合や定額制などの、地域公共交通に関する取組は、全国タクシー協会としても取り組まなければならないと感じ、全国タクシー協会として模索・研究している。 ● 「チョイソコかかみがはら」は、①ダイヤがないこと、②停留所を増やせることの2点において、タクシーとほぼ同じ公共交通となり得るが、タクシーと比べて安価であるため、既存のタクシー事業と競合するのではないかと危惧している。 	<p>＜事務局＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「チョイソコかかみがはら」は、タクシーとの棲み分けを考慮して導入していく。 ● 運行時間を平日9時～16時と限定し、今回実証実験を行うエリアを無暗に広げることなく、エリアの中のみでの移動とする。 ● 地域内停留所を無暗に増やすつもりはない。エリアスポンサーの停留所についても、あくまで目的地となる施設等のみを対象とする。仕組みとしては、個人での協賛も制度としては可能だが、それらは除外し、外出機会の創出とならない場所については、停留所を増やさない。特に初期段階である現在は、停留所の配置バランスを考慮し、スポンサー募集活動を行っている。 ● 会員制となるため、一見のお客様は利用できない制約を設け、既存タクシーとの棲み分けを行いつつ、タクシー事業者と一緒に新しい公共交通を作っていきたいと考えている。
<p>＜日の丸タクシー㈱ 白木様（オブザーバー）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運行に当たり、利用者アンケートを頻繁に実施していただき、問題点をヒアリングしてほしい。利用者の方々の意見を生かして、実証実験を成功させていただきたい。 	<p>＜事務局＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「チョイソコかかみがはら」は、事前登録制なので、会員情報を活用することで、利用者に絞ったアンケート実施も検討できる。
<p>＜鵜沼自治会連合会長 櫻木委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アイシン精機㈱の配車システムはオペレーターの判断で予約したい時間の利用が可能かどうかを決めるものなのか。そこで乗降時間の変更もあり得るのか。 	<p>＜事務局＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 先着予約が入っていた場合、乗合状況や乗車定員の都合により、次の便でのご案内となる場合がある。 <p>＜アイシン精機㈱ 加藤委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本配車システムは、車両が同じエリアをぐるぐると走り回らる中で、できるだけ乗合を実現させようとする仕組みである。そのため、先着予約があれば、多少の乗車時刻の変更はあり得る。（希望時間に予約できない場合は、）予約の際にオペレーターが前後の時間帯をご案内し、利用者の方と相談の上で時刻を決定する。

<p><蘇原自治会連合会長 川島委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外出を控える動きが広がっている中で、2年後までに実証実験を終えて良いのか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● コロナウイルスの収束がいつになるか分からないため、2年と設定はするが、期間について伸ばすようなことがあれば、再度、会議の場を通して協議したいと考える。
<p><岐阜工業高等専門学校 川端先生></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業の評価時期のスケジュールはどうなっているか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 四半期に一度、評価していきたいと考える。その中で、実証実験後の事業をどうしていくかを会議の場で提案していきたい。

報告・意見	
<p><岐阜交通東部(株) 石井委員></p> <p>鵜沼南エリアを運行するにあたり、まずはアイシン精機(株)と連携して、地域住民の皆様にご理解いただけるような「チョイソコかかみがはら」としていきたい。</p> <p>「チョイソコかかみがはら」は、先進的な取組であるため、一丸となって地域の公共交通を盛り上げていくと共に、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底、安全運行に努めます。</p>	
<p><川島タクシー(株) 横山 様 (オブザーバー) ></p> <p>「チョイソコとよあけ」の運行を視察したが、乗務員がとても親切であった。運行ルートもかなり狭い道を走っていたが、トラブルがほとんどなく、運行ルートの不安についても、アイシン精機(株)がサポートしてくれると知り、驚いた。</p>	
<p><名鉄西部交通(株) 久留宮 様>※欠席のため、意見を事務局で代理に発言。</p> <p>新しいことにチャレンジすれば、必ず影響の懸念は出てくる。「チョイソコかかみがはら」についても本業への可能性はあるかもしれないが、実証実験がスタートしたからといって、それだけで本業に大きく影響が出るとは思っていない。</p> <p>こういった会議の場で事業者も参加できる形で、議論できるということは有難い。</p> <p>今後もこのような会議の場でしっかりと説明や表立って協議してほしい。特に、チョイソコで出てきた需要等のデータは、タクシー本業にとっても有意義なデータとなる可能性もため、会議等で共有いただけると有難い。</p>	
<p><アイシン精機(株) 加藤委員></p> <p>「チョイソコかかみがはら」は、岐阜県で初めての取り組みとなるので、事業に賛同いただけるタクシー事業者からも様々な声をいただき、システムをより良いものにしていきたい。その土地にあった配車システムとするために、タクシー事業者の皆様と協力して一緒に作り上げていきたい。</p>	
<p><那加自治会連合会長 末松委員></p> <p>タクシー事業者が、事業を前向きにとらえていて、利用する側としてはありがたい。利用者として、安価で便利な公共交通があることの周知に協力し、各務原市に住んでよかったなと思えるようにしていきたい。</p>	

<八木山地区社協 清水委員>

「チョイソコかかみがはら」を八木山にも導入してほしい。既存のタクシー事業が圧迫されてしまうのではなく、共存ということが大切だと考える。新型コロナウイルスにより、外出を控え、引きこもる高齢者が増えると、認知症や筋力の低下など、要介護者が増えるのではないかと心配している。今後、この事業は、新しく出かけるきっかけとなり、良い取り組みだと考える。

<アイシン精機(株) 加藤委員>

チョイソコが目指しているのは、新たな外出機会の創出である。現在の公共交通は、基本的に「行かなければいけない」状況で使われているが、それ以外に「思わず外に出たくなる」イベント等を企画していきたい。その中で、外出機会が週1回から週2~3回になるなど増えていくことを期待している。

<岐阜運輸支局 久世委員>

本来であれば、交通事業は、それぞれの事業者の経営判断のもと行っていくものであり、このような協議の場には出てこない。しかし、「チョイソコかかみがはら」の場合は、一事業者ではできないシステムとなるため、協議体の合意で決めていく必要がある。今回は、住民代表の方の意見や公共交通事業者の方の意見などをいただいて、国が求めている形の会議体となっていて、有意義と感じている。

だからこそ、チョイソコ事業についても、行政がしっかりとグリップして事業を進めるということを含頭に置いていただきたい。

交通事業者も、人手不足などの問題を抱える中で、域内全てをカバーすることがいずれ困難となるため、需要に応じて、サービスの形を変容していくことが大切である。

<岐阜工業高等専門学校 川端先生>

各交通サービスを公共交通全体の中で、どこに位置付けるかは重要な議論である。とりわけ、新たな交通サービスであるチョイソコは、バスとタクシーの中間モード（中間的なサービス水準の交通手段）であるという認識を共有する必要がある。

チョイソコについて事務局案では、20分前まで予約可能であり、停留所を設置しているとは言え限りなくタクシーと近いサービス水準である。実証実験開始時点でニーズを掘り起こし、利用を喚起する考え方として利便性を上げることは有効な手段かもしれない。その上で、既存タクシー事業への影響を注視し、実証実験を進めるべきである。一方で、予約可能時間の制限を強めることは、サービス内容を低下させる話にもなり得るため、そこは慎重に判断いただきたい。

また、チョイソコの導入で短距離移動での利用が増えることも想定される。どのように利用されているのか、利用距離別にデータを精査することも検討いただきたい。

■その他

- ・岐阜運輸支局より

報告

<岐阜運輸支局 久世委員>

バスデータ活用大百科のチラシの告知。

持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律の資料を用いて、改正内容について説明。

・各務原警察署より

報告

<各務原警察署 荒木委員>

交通事故等の状況について報告。

- 免許証返納をしたことにより、公共交通の費用負担を心配している高齢者が多いため、車の維持費等と公共交通にかかる経済負担を比較して示すことができれば、不安を解消できると考える。
- また、運転免許証自主返納支援事業の3,000円について、引き上げや複数回の支給等の要望を聞くことがある。

■総括

川端先生 総括・指摘事項

他市町村の公共交通会議では、地域代表の方が全く発言されない中で、議事が終わってしまうことが多くある。今日のように、地域代表の方からも交通事業者からも意見が出るのが本来の姿の公共交通会議であると考えます。

デマンド交通の予約は、利用者にとって面倒くさいと感じることが多い。エリアスポンサーが代わりに予約をとるなど、代理予約できる仕組み等も今後考えても良いのでは。チョイソコをきっかけに地域全体が盛り上がっていくと良い。

チョイソコの利用率やニーズが上がってきたときに、既存公共交通の邪魔にならず、交通事業者の負担にもならないよう、他の交通事業者の利用状況がどうなっているかを把握しておくことが大切である。